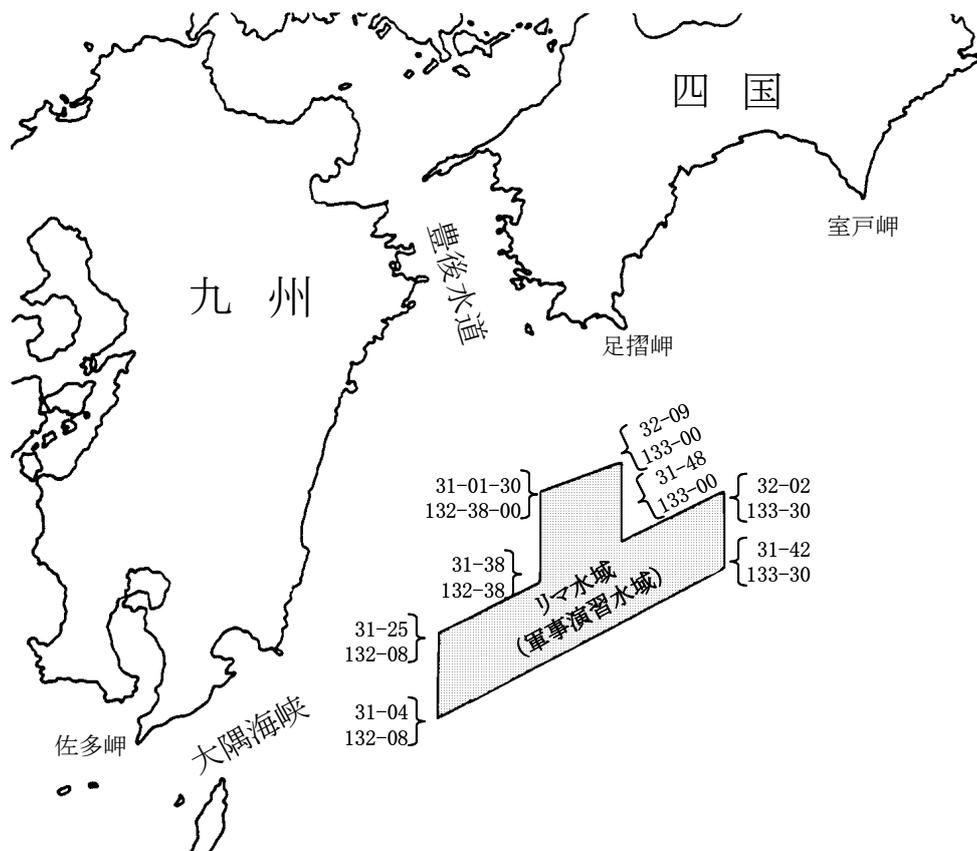


【参考図表】

リマ水域の設置位置



※ 当県の総面積に匹敵するほどの水域が指定されている。

当県総面積(陸域) 7,104km²

リマ水域面積 6,255km²

リマ区域周辺漁業用施設整備助成事業の予算確保と配分

現 状

課 題

○本県では、リマ水域の指定による漁業者への影響を緩和することを目的に、当該事業を活用し、施設整備に取り組んでいる。

○当該事業における平成31年度からの5カ年計画のうち、土佐清水市のメジカの生産・加工に必要な共同煮熟施設などや、県中央部の拠点市場の整備については、県経済が抱える課題に正面から向き合い、経済を根本から元気にするための「高知県産業振興計画」の中核に位置づけており、必要な費用として、合計約12億5千万円の補助金を見込んでいる。(表1)

○特に、当県で最も沿岸漁業が盛んな土佐清水市においては、リマ水域指定の影響を大きく受け、基幹漁業であるメジカ漁業は漁業者の減少・高齢化に歯止めがかからない状況が続いている。

○こうした厳しい状況を打開するため、市ではメジカ漁業を始めとするメジカ関連産業の集積による地域経済の活性化に取り組んでおり、5カ年計画に基づく施設整備は、その中核となる。

○これまで本県では、当該事業を導入し、浦々の漁村のレベルアップを図るために必要な施設の整備を進めてきたが、近年は、漁業者の減少・高齢化が進む中で施設の拠点化・集約化に取り組んでいるため、年度によって事業規模が大きく変動している。(図1)

○リマ水域の影響を受ける漁業者の所得向上に必要な施設について、当該事業の新たな5カ年計画に位置づけて計画的に整備を行うためには、必要な予算の確保と配分が必要

図1 民生安定事業(関連事業含む)及びリマ区域周辺漁業用施設整備助成事業の実績額の推移(補助金額)

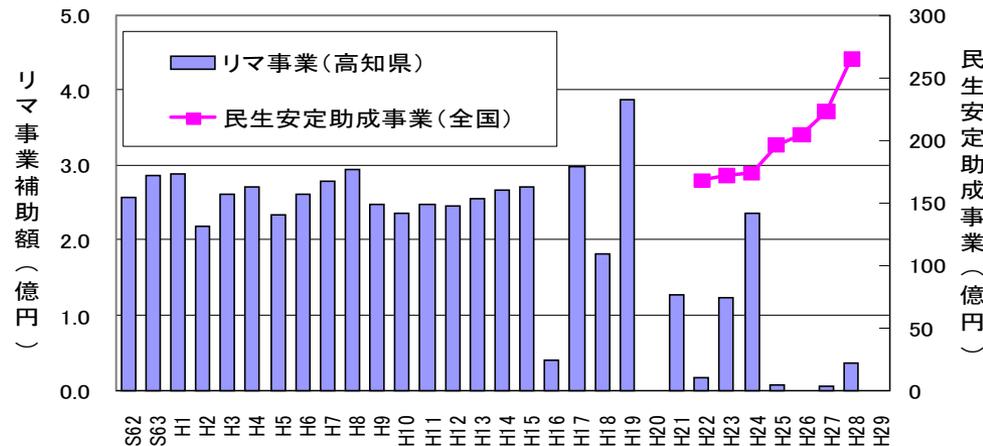


表1 リマ区域周辺漁業用施設整備助成事業の5カ年計画(主要な施設整備)(補助額)

年度	H31	H32	H33	H34	H35	合計
残さい処理施設 (土佐清水市)	←-----→					411百万円
	204百万円	207百万円				
共同煮熟施設 (土佐清水市)		←-----→				242百万円
		242百万円				
市場施設 (須崎市)			←-----→			600百万円
			300百万円	300百万円		
防衛省補助額合計	204百万円	449百万円	300百万円	300百万円		1,253百万円

政策提言

○リマ水域(軍事演習水域)指定に伴う影響緩和を目的とするリマ区域周辺漁業用施設整備助成事業について、当県の漁業・漁村の現状を踏まえ、地域振興に必要な予算の確保と配分を提言します。

土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト

背景

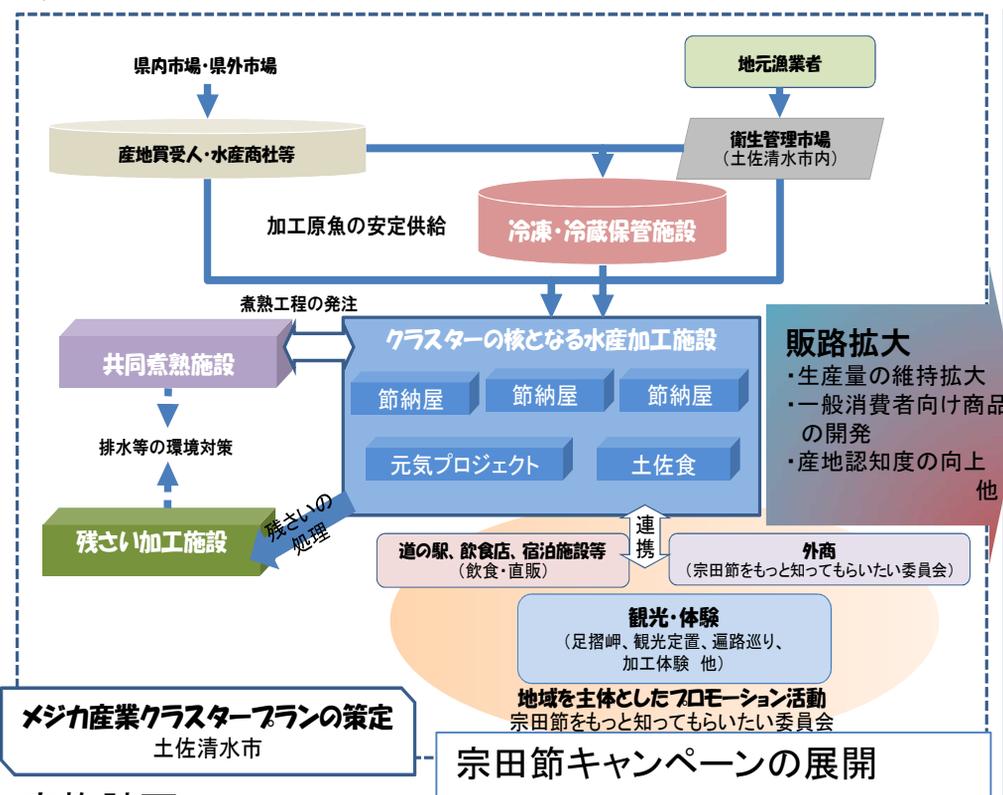
- ◆土佐清水市はソウダガツオ類の漁獲量全国一 5,652t(H27水揚げ実績)
- ◆江戸時代から鰯節類の製造が続いており地域の伝統産業として根付く
- ◆現在主力となっている宗田節は高品質で業界内での評価が高い
- ◆メジカ関連産業は市の中核産業で多くの人々が関与

メジカ加工施設を核とした水産クラスターの形成

- 冷凍保管施設の整備と一元的原魚調達窓口の構築
- 共同煮熟施設整備と協業化等による人手不足への対応
- 新たな残さい加工施設の整備と効果的運用
- 新たな市場開拓のための消費者向け商品開発とプロモーションの継続

節納屋の経営安定
↓
メジカ関連産業
の維持・拡大

クラスターイメージ



目標値 (H31時点)

- メジカ関連産業の維持・拡大
 - ・メジカ漁獲量: 6,500t
 - ・宗田節出荷数量: 600t
- 産地認知度の向上と地域の交流人口拡大
 - ・観光入込客数: 80万人

メジカ産業クラスタープランの策定 土佐清水市

実施計画

	H29	H30	H31	H32	H33
冷凍保管施設	実施設計 種子島事業	整備 水産庁事業	稼働		
共同煮熟施設			実施設計 種子島事業	整備 リマ事業	稼働
残さい加工施設		実施設計 種子島事業	整備 リマ事業		稼働
観光や飲食店等と連動した宗田節キャンペーンの展開	地域を主体とした宗田節キャンペーン(宗田節ロードほか)				